



セントラル労組のJR総連加入で明らかになった JR総連声明は、闘わない御用組合宣言だ！

JR総連が臨時大会でJR東海労除名を決定し、JR東海労脱退者が結成したJRセントラル労働組合のJR総連加盟を承認したことが、JR総連執行委員会声明(12月12日付)・JR総連通信No.1798、1799で明らかにされました。

JRセントラル労働組合の執行委員長に就任した森下君は、臨大で「東海の地でJR総連運動を展開し組織拡大に向けて奮闘する」と挨拶したそうです。またJR総連の声明でも「JR総連は～JRセントラル労働組合の仲間たちと堅く連帯し、東海の地において雄々しくJR総連運動を展開し～」と書かれています。この「JR総連運動」とは一体どのようなもののでしょうか？その課題は「春闘勝利・政策要求実現・参院選挙勝利・憲法9条改悪反対・日本の戦争体制強化反対」だとされています。

春闘以外は会社が相手ではありません。春闘で賃上げを目指すことは当然ですが、今東海の職場では、管理者によるパワハラが横行し、定期昇給が有名無実と化し、昇格試験差別が横行しています。更には休日出勤強要・年休抑制など、多くの問題が存在しており、退職を選ぶ社員も少なくありません。またJR東日本では更に悪辣な組合組織破壊攻撃が多くの職場でかけられています。これらに対する闘いは、課題としては全くあげられていません。つまり「JR総連運動」とは、会社に対する闘いはすべて放棄するということです。

またJR総連声明では「あらゆる妨害からこの仲間たちを組織として守り抜き」といわれています。つまり「JRセントラル労働組合の仲間たち」は闘う主体ではなく、JR総連によって「守られる」対象なのです。また「満場一致と万雷の拍手でJR総連の加盟が承認された」と書かれているのに、臨時大会から一週間経った今日でも、各単組やJR東海労組各地本のホームページにはJR総連声明やJR総連通信は全く掲載されていません。いやそれどころか、JR総連ホームページは開けないままなのです。

JRセントラル労働組合とJR総連は、会社と闘わないことを宣言することで、JR東海ユニオンに続く御用組合であることが明らかになったのです。